

For Immediate Release

Contact:

バークレイズ証券株式会社
広報部 中田 咲
03 4530 5623emi.nakata@barclays.com

バークレイズ証券、10 件目の再生可能エネルギープロジェクトボンドを組成

引き続きグリーンファイナンス市場の拡大に貢献

東京 2021 年 3 月 26 日 – バークレイズ証券株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:木曾 健太郎)は本日、鹿児島県南九州市穎娃町の太陽光発電事業プロジェクトに対する再生可能エネルギープロジェクトボンドを組成しました。本件は、リニューアブル・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:眞邊 勝仁)をスポンサーとし、鹿児島県南九州市に完工した太陽光発電事業に対するプロジェクトファイナンスローンを裏付とした信託受益権です。当社がアレンジした再生可能エネルギープロジェクトボンドとしては 2017 年 8 月の第 1 号案件以降 10 件目となり、総発行額は 888 億円を超えました。

本案件は、格付投資情報センター(R&I)より最上位の評価であるグリーンボンド格付 GA1 と、グリーンボンド原則等への適合性に関してセカンドオピニオンを獲得しており、プロジェクトファイナンス形式で発行されたグリーンボンド及びグリーンローンです。また本案件は、リニューアブル・ジャパンが 2017 年に 1 回債を発行してから 9 回目のプロジェクトボンドによる資金調達となり、2018 年にグリーンボンドフレームワークを作成し、3 回債から継続してグリーン評価を取得して参りました。

バークレイズ証券の投資銀行部門ストラクチャード・ファイナンス部長、上田 輝久は、「当社におきましては 10 件目となるグリーンプロジェクトボンドの組成となり、大手機関投資家や地域金融機関の幅広い投資家に継続的なご参加をいただく発行プログラムとなりました。今後も引き続き、事業者と投資家の多様なニーズに応えるとともに、日本のグリーンファイナンス市場の拡大に尽力して参ります。」と述べています。

本取引の概要

名称	RJ 再生可能エネルギープロジェクトボンド IX 受益権 (GB) / ABL (GL)
発行金額	10,150,000,000 円 受益権 (GB): 6,450,000,000 円 / ABL (GL): 3,700,000,000 円
発行日	2021/3/26
最終償還日	2041/2/20
受託者	日立キャピタル信託株式会社

対象事業の概要

事業者のスポンサー	リニューアブル・ジャパン株式会社
事業内容	太陽光発電事業
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町
事業規模	25.76 MW (モジュール規模)
年間 CO2 排出削減量	約 10,573 トン

バークレイズについて

バークレイズは、英国を本拠とするユニバーサル・バンク(総合的な金融機関)です。多様なビジネスとさまざまな種類の顧客を持ち、世界各地でビジネスを展開しています。世界中で個人向け銀行業務や各種支払いサービスを提供するほか、フルサービスの法人向け銀行業務および投資銀行業務を提供する世界有数の金融機関です。これらバークレイズのビジネスはすべて、テクノロジー、オペレーション、事務管理などのサービスをグループ全体に提供するサービスカンパニーによって支えられています。